

令和7年度 授業改善推進プラン < 音楽 >

練馬区立大泉西中学校

	課題分析	授業改善策	評価
1年	<p>歌唱 意欲的に歌っている。音程、声量ともに良い生徒が見られる。</p> <p>楽典 理解が難しい生徒が散見される。</p>	<p>歌唱 発声を十分に行い、レベルの高い合唱を目指す。</p> <p>楽典 ICTを活用して理解しやすいように視覚でわかるような工夫を行う。</p>	<p>歌唱 発声量は十分であった。楽しんで取り組む生徒が多かった。</p> <p>楽典 創作を行ったがもっと時間をかけて理解を深めることが必要である。</p>
2年	<p>歌唱 意欲的に取り組んでいる。声量を伸ばしたい。</p> <p>楽典 理解が難しい生徒が散見される。</p>	<p>歌唱 発声にて声量を伸ばす。話し合いの場面を増やし、自分たちで曲の理解を深めさせた。</p> <p>楽典 作曲の授業を通して理解を深めさせる。</p>	<p>歌唱 曲想や強弱などについて考えて表現する生徒が増えた。さらに難曲に挑戦しようとする意志が見られた。</p> <p>楽典 もっと時間をかけて理解を深めることが必要である。</p>
3年	<p>歌唱 意欲的に取り組んでいる。</p> <p>楽典 理解は大体できている。</p>	<p>歌唱 自分たちでできる表現が深いものになるように曲の要素から十分に考えさせる。</p> <p>楽典十分に活用して表現が出来るような機会を多くする</p>	<p>歌唱 曲の要素を考え、世界観を表現することが出来た。音を通しての表現について十分に取り組んだ。</p> <p>楽典 演奏や合唱、鑑賞において活用する機会が多かったように思う。理解度は深まったと思う。</p>